第2回草井区地元説明会質問等要旨

○日　時　　平成２５年７月７日（日）　午後７時～午後９時２５分
　　　　　　（２時間２５分）
○場　所　　学習等供用施設　草井会館
○出席者　　草井区住民６３名（６０世帯）
○傍聴者　　市議会議員１４名、報道関係者１名
　市役所　　市長、副市長、教育長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め対策室員５名
　準備室　　尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第１小ブロック会議準備室長始め準備室員２名

(1) 環境への疑問等に関するもの

質　問　・　意　見　等	回　　　　答
・個人の持ち込みがあると、排気ガスの問題や交通渋滞が生じるおそれがあるが、新施設では個人の持ち込みを検討しているのか。個人の持ち込みによって、一宮市の焼却施設では渋滞が起きている。また、車両が建物に出入りする際には、臭いが外部に漏れるのではないか。	・現時点では、２市２町で個人の持ち込みについての議論をしていない。 　ごみピットからは、当然、臭いが出るが、最新の施設では、ごみピットの臭いが外部に漏れないような対策が講じられている。例えばエアカーテンや二重扉を設置したり、ごみピット内の空気をごみの燃焼用の空気として利用したり、プラント内部の気圧を低くするような対策が講じられている。 　交通渋滞については江南丹羽環境管理組合では発生していない。２倍以上の規模を持つ名古屋市鳴海工場や五条川工場は、車の出入りも２倍以上となるが、交通渋滞は起きていない。なお、一宮市の状況については、確認をさせていただく。

(2) 施設に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
・１回目の説明会から日数が経っているが、ごみ処理施設の概要が今日の資料に載っていない。連続炉や溶融炉を導入するか否かなどの説明をすべきではないか。	・新施設は、基本的には連続炉となる。ただし、炉の形式については、今後、住民の皆様に入っていただく施設整備検討委員会において、皆様の意見をお伺いしながら決定していくので、なるべく早い段階でこの委員会を立ち上げていきたい。 ご指摘いただいたことなどについては、6月末の第１小ブロック会議で協議を開始する旨の決定がされたので、なるべく早い段階で皆様にお示ししていきたい。

(3) 説明会の開催等に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
・説明会を繰り返す事によって、地元の了解を得たとならないか心配だ。地元同意をどう判断するのか。	・地元同意をどう判断するのかについては、決まっていないが、説明を重ね、ある程度の皆さんのご理解を得られたと判断した時に、第１小ブロック会議の方で検討していただくことになる。
・説明会資料をあらかじめ地区で回覧していただきたい。また同時に、質問や意見を書く用紙を付け、欠席者の声が届くようにして欲しい。	・今後検討させていただく。

(4)余熱利用、地域振興策等に関すること

質 問 ・ 意 見 等	回 答
・地域振興策について、他自治体の例しか紹介されていない。２市２町の方向性は出ていないのか。これでは討論できない。	・江南市としては、なるべく早く具体的な地域振興策をお示ししたいが、この事業は２市２町の広域の事業なので、江南市が単独で皆さんにお示しすることができない。皆さんの意見をしっかりお伺いしながら、２市２町の中で検討させていただく。

質 問 ・ 意 見 等	回　　　　答
・ごみ処理施設と防災拠点の関係について、詳しく説明して欲しい。	・焼却施設は発電所としての役割を果たすことが可能なことから、東日本大震災以降、地域の防災拠点とする動きが出ている。こうした観点に立って、ごみの焼却により生じる熱エネルギーをいかに活用するかを考えた施設整備を進めていきたいと考えている。 焼却施設は、ごみを燃料として発電できるため、仮に電力会社からの送電が止まったとしても、安心して避難所としての使用が可能となる。
・大地震の際に、プラントが再稼動できれば発電が可能だとの説明があったが、再稼動できる前提で設計をしないのか。	・ごみ処理施設の稼動には、あらかじめ再稼動のための自家発電設備などを備えていることが必要となるが、今後検討していきたいと考えている。
・江南市は野球グラウンドが不足している。ごみ処理施設の敷地は３ｈａから４ｈａを考えているようだが、もう少し広く土地を確保して、グラウンドを整備していただきたい。	・ごみ処理施設と一体のものであれば、２市２町の中で検討されるが、それ以上となると、江南市単独で財源を確保する必要があるため、江南市全体の財源推計を踏まえたうえで判断させていただきたい。
・もっと積極的に余熱利用で地元経済が活性した事例などを紹介し、地元住民の心をつかむことが必要ではないか。	・江南市全体のまちづくりを踏まえ、地域が活性化するような施策も大切であると考えている。今後は、第１小ブロック会議の中で、地域振興策の規模を始め具体的な検討が始まるので、なるべく早い時期に、皆様にお示しができるように努力をしていきたい。
・候補地の現況が雑木林で、不法投棄や犯罪が起こるのではないかと不安視している。自然を上手に残し、環境を整えることによって、こうした不安感が解消できる。	・ごみ処理施設の建設にあたっては、なるべく自然を残し、緑あふれる施設となるよう検討したい。

(5) その他

質　問　・　意　見　等	回　　　　答
・ごみ処理施設ができたことにより、規制されることは何かあるのか。	・岐阜基地の４㎞圏内ということで、中般若町北浦地内には航空法による構築物の高さ制限はあるが、ごみ処理施設ができたことによる規制はない。
・防災拠点とはどのような施設か。	・防災拠点とは、防災資機材、食料、水、救援物資などの備蓄があり、発電設備などが整備され、皆さんが安心して避難生活が送れる機能をもった施設である。防災拠点として位置付けるかどうかは、今後、第１小ブロック会議の中で検討がされる。
・般若の地域で昔、木曽川が氾濫したと聞いている。今後、木曽川が氾濫することはないのか。	・国土交通省の木曽川上流河川事務所が概ね２００年に１度起こると想定した木曽川の氾濫シミュレーションによると、中般若町北浦地内は浸水被害のない地区とされている。
・一部事務組合で決めるとの回答が多いが、他市町の方にも説明会に同席いただかなければ、何も決まらないのではないか。	・現在、第１小ブロック会議では、江南市が責任を持って地元及び地権者の同意を得ることになっている。新施設の早期建設が必要なことを踏まえ、是非、皆様のご理解をお願いしたい。